

MF-Tokyo
2015

プレス・板金・
フォーミング展

18



オプトン社長

奥語 照明氏

「製品のトレーサビリティへの投資をしようという動きが広がっているため、力を入れてPRする」

「20」を出展 検査用の3Dスキャナ
する。自動「インライン非接触
車のエアコ 3Dスキャナ」だ。ロ

「環境製品も出展しますね。」

ロボットでパイプ曲げ

―出展する機械は。

「直径20ミ以下
アルミのパイプの曲げ
加工ができるロボット
ベンダー「TWIN

ン用の配管加工が主な
ターゲット。パイプに
他の部品が付いている
も、ロボットなのでそ
れを避けて加工ができ
る」

―ロボット以外の目
玉製品は。

「生産ラインの自動

ロボットベンダーの品質
保証用に開発したが、
汎用性が高いので幅広
く売り出す。設計書通
りに製品ができている
か10割―100割の

精度で検査をすること
が可能だ。最近品質
保証の考えが厳しくな

史

ポンプの推力をコント
ロールする。従来の油
圧ポンプに比べ、消費
電力は3分の1にな
り、騒音や発熱も抑え
られる。古い油圧プレ
スをサーボ化できる」
(名古屋・江刈内雅